

# 応用技術課の業務を紹介します

応用技術課長 久野孝希

応用技術課は、電気・電子、表面・微細加工、食品・バイオの三つの担当があり、技術的な課題に対する相談・指導、当センターの機器を利用した分析・試験、共同研究の推進、セミナー・研究会の開催により、企業の新製品開発、品質管理、技術改善、研究開発等にお役立ていただいております。

## ■電気・電子担当

電気・電子担当が対応する試験は、電気製品に求められるノイズ規制に対応するために必要なEMC試験、光・マイクロ波・ミリ波帯域のデバイスやユニットの動作試験、ICなど微細な配線や回路パターンの非破壊検査試験を実施しています。最近では、電気用品安全法に基づくPSEマークの貼付対象となりましたLED照明器具の案件が増加しています。担当で実施している共同研究テーマとしては、LED照明の様々な波長の光を用いた



画像処理技術の向上に取り組んでおり、着物のシミや汚れの抽出に大いに期待されています。また、担当では京都光技術研究会の運営、EMC技術セミナーの開催を行っており、電気・電子に関連する技術の向上支援、情報提供に努めています。



## ■表面・微細加工担当

表面・微細加工担当が対応する試験は、材料の成分分析や構造解析のための試験、材料への様々なストレスによる影響を評価する信頼性評価試験を実施しています。表面処理の品質評価や微細形状の確認、過酷な使用環境での評価など、分野を問わず幅広い業種の企業の方々にご活用いただいております。担当で実施している共同研究テーマとしては、マイクロバブルを用いた廃液処理技術の向上に取り組んでおり、亜鉛めっき排水の処理に大いに期待されています。また担当では、めっき業界との連携をはじめ、ナノ材料応用セミナーの開催を行っており、表面・微細加工に関する技術の向上支援、情報提供に努めています。



## ■食品・バイオ担当

食品・バイオ担当が対応する試験は、食品に含まれる成分分析や物性試験、食品加工・保存、発酵、新規食品開発等に関連する加工試験を実施しています。最近では健康食品への期待が高まっており、機能的食品や素材開発等の試験分析依頼が多くなっています。担当



で実施している共同研究テーマとしては、京都の伝統野菜を利用した新機能的食品の開発や簡易的な現場清浄度検査技術の調査研究等に取り組んでおり、地域振興への寄与に大いに期待されています。また担当では、食品等に関わる技術的課題について様々な角度から検討を行うとともに、情報交換の場を提供する食品・バイオ技術セミナーの開催を行っており、関連技術の向上支援、情報提供に努めています。



主な試験業務を中心に紹介しましたが、みなさまが抱えておられるさまざまな技術課題は分野を横断するケースがしばしばです。担当職員も積極的に企業訪問を行いながら、こんなことで困っているのだけれど、こんなこと出来ないか、人材の育成…等、幅広く相談に応じ各種ご提案をさせていただいており、少しでもみなさまのお役に立てるよう日々挑戦しています。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター  
応用技術課

TEL:075-315-8634 FAX:075-315-9497  
E-mail:ouyou@mtc.pref.kyoto.lg.jp